

JAきたみらい

# あけびま かなた

2013



vol.120

1

## 迎春

北見路二〇km始点

石北峠  
北見

標高一〇五〇m

表紙の紹介は2ページをご覧ください



# 季節の薫り



## ハウスの除雪作業

12月8日から11日まで断続的に降り続いた雪は、今シーズン一番の降雪量58センチを記録した。

相内地区・美園の水野淳一さんでは、父親の修司さんと二人三脚で、この5日間で3回目の除雪作業に追われた。玉葱育苗用のビニールハウス6棟800坪の除雪作業に1回約1～2時間。

玉葱農家にとっては、冬の間とはいえ、気を緩められないハウス管理が始まっている。

トラクター 90馬力にスノーブローワーを付けて、1棟最長100坪のハウスを覆う積雪を次々に吸い込んで、シュートから豪快に雪を吹き飛ばす。

「玉葱作付け16センチを予定している。天候に左右されない管理をしていきたい」と、親子で口を揃え、25年の営農に意気込みを見せた。

**写真**  
 ・ハウスまわりの積雪をスノーブローワーで豪快に吹き飛ばす  
 ・スコップでこまめに除雪を行う淳一さん

### 新年号の

### 表紙紹介

昨年に続き表紙の題材として取り上げることとした「初日の出」。今回はきたみらい地区の西の玄関「石北峠」にチャレンジ。1回目の挑戦では、11月23日(金)早朝より行ってみるも峠は、厚い雲と雪にはばまれ、何も撮れずあえなく断念。  
 2回目12月1日(土)は前回の失敗を踏まえ、日高、十勝からの雲の流れを予測、晴れると決断したが、旭川地方の“ゆきだるま”予報が脳裏をさえぎるも、振り切って早朝に峠へ出発、湯根湯付近で雪が舞い始め、“やっぱり失敗か？”と思いながらも頂上に着くと晴れてきて、日の出前の明るくなってきた空に、月がぼつんと浮かんでいるところを1枚撮影。(裏表紙に使用)  
 日が差し始め撮影を開始、20分程太陽と格闘、満足したところで峠を下りました。事務所に帰り撮影した写真を見ているうちに、“もっと良い写真が欲しい”と思い、再度の撮影を決断。12月8日(土)3回目を決行、この日撮れた1枚を表紙として取り上げることとなりました。  
 静かな峠の山頂で日の出を待つ間、昨年を振り返り、農繁期では長雨や厳しい残暑、年末には総選挙など“あわただしい”年であったことをしみじみ実感しつつ、本年2013年こそは農業政策が安定し農業も好天に恵まれ、良い年でありますよう祈願いたしました。



[2012.12.8 石北峠 標高1050m AM7:48撮影]

### もくじ CONTENTS

○ J A からのお知らせ	○ J A きたみらい ホットライン東西南北	○ 青年女性ネットワーク	新春特集 「黄金色の実を結ぶ」を願い	○ 組合長から新年の「挨拶」 「農業者が経営発展に 取り組める環境を」	○ 表紙紹介	○ 季節の薫り
20	16	11	6	4	2	2

### J A きたみらい概要

(平成24年12月17日現在)

- ・組合員数(正) 1,810人
- ・組合員数(准) 5,652人
- ・組合員戸数(正) 1,203戸
- ・貯金 104,391百万円
- ・貸出金 18,251百万円
- ・出資金 5,188百万円

# 農業者が経営発展に 取り組める環境を



きたみらい農業協同組合

代表理事組合長  
**西川 孝 範**

## 天候不順などで

## 全農作物に大きな影響

新年明けましておめでとうござい  
ます。組合員の皆様を始め、ご家族  
の皆様には、健やかに平成25年の新  
春をお迎えのことと心よりお慶び申  
上げます。

また、皆様には、JAきたみらい  
事業運営に対し日頃より深いご理解  
とご協力を賜り厚く感謝とお礼を申  
し上げる次第であります。  
昨年は、東日本大震災から1年が

また、7月5日には降雹・豪雨等  
災害が発生し、10月下旬からは例年  
の倍以上の長雨により収穫が遅れる  
など、不順な天候により農作物全般  
が、大きな影響を受けた年となりま  
した。  
しかし、ここ2年ほど低収に苦戦  
をしてきました「きたほなみ」も品

種の特性に応じた栽培技術の確立に  
より、収量・品質とも一定の成果を  
収めることができました。  
水稲・玉葱・馬鈴薯・甜菜におい  
ては、平年並みの収穫量を確保出来  
たものの、玉葱はここ数年の高単価  
も落ち着きをみせ、平年並の価格推  
移となっております。

## TPPP交渉参加 断固認めない

さて、農業・農協を取り巻く情勢  
は、政府が国民に情報開示を前提に  
TPP交渉参加の協議を行うとして  
いながら、農政の根底を覆すTPP  
（環太平洋パートナーシップ協定）  
への参加表明をするなど、国家と国  
民の将来を左右する外交交渉が、政  
府の外交不安の代替となることは、  
断固認めるわけには行きません。T  
PP交渉参加は、国内農業崩壊はも  
ちろんのこと、この国のかたちを一  
変させる可能性のある国民的課題で

あることを消費者や地域住民とも  
に発信してまいります。  
併せて、生産資材の高騰により農  
業所得は減少しており、今後も生産  
資材価格の高止まり傾向が続くもの  
と考えられることから、農業経営費  
の増加と戸別所得補償制度見直し、  
意欲あるすべての農業者が将来にわ  
たつて農業を継続し、経営発展に取組  
むことができる環境づくりに向けて、  
系統一丸となって予算の確保と、政策  
提案要請運動を展開してまいります。

## 地域に貢献できる

## JAであり続ける

このような環境の下、第3次農業  
振興方策並びに中期経営計画の計画

を樹立した時とは政策、経済面でも、  
大きく環境が変化しておりますが、

経過し、全国の原子力発電所が稼働  
停止となり、2ヶ月後には一部再開  
されました。

全国的に節電対策の要請に応えま  
したが、特に北海道は冬期間の電力  
需要が大きいことから、継続して取  
組んでいかなければならないなど、  
課題は山積しております。節電にご  
協力頂いております組合員の皆様  
には、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の営農を振り返ってみ  
ますと、5月のゴールデンウィーク  
からの長雨により、多くの作物の播  
種・定植の終了が大幅に遅れた年と  
なりました。

平成25年度を目標とした農業所得1  
100万円確保を確固たるものにし  
るため、営農支援機能の特化のため  
の向うく営農を基本姿勢に「組合員  
とともに、組合員による、組合員の  
ため」を原点として、機能の総力を  
結集し積極的に取り組んでまいりま  
す。

また、昨年は、第27回JA北海道  
大会において、「持続可能な北海道農  
業の実現」と「次代を担う協同の実  
践」を決議しました。JAきたみら  
いにおいても、JA北海道大会の決  
議を基に、「地域コミュニケーションの発  
揮」と、「融合に向けてきた10年から  
教育を重視する10年」と位置づけ、  
「魅力あるJA・選ばれるJA」・「地  
域に貢献できるJA」であり続けて  
いく所存であります。

組合員の皆様の方々のご健勝と災  
害が無く豊穡の秋を迎えられますこ  
とを心よりお祈り申し上げ、新年の  
ご挨拶と致します。

# 黄金色の 実を結ぶことを願う



今年の干支は巳年です。昨年の1年間を表す漢字として「金」が選ばれましたが、巳年は「実(巳)」を結ぶ年」ともいわれ、「金」にたとえられた年にまいた種は、本年どんな実をつけてくれるか、期待が寄せられます。新春恒例の特集として「一年男・年女」さんに登場いただき、今年1年、どんな実をつけたいか、抱負を語っていただきました。

温根湯地区・滝の湯  
しんべい  
**本條 真平さん**  
(2001年生まれ)



明けましておめでとうございます。  
今年から始めた野球や2年生から続けているピアノをもっとがんばりたいです。特に野球は始めたばかりなので覚えることがいっぱいあるし、友だちと一緒にいる時間が長いのでとても楽しいです。  
それと今、ヨーヨーにハマっているのいろいろなワザを覚えてテクニックを磨きたいです。  
勉強では苦手な教科が多いので少しずつ克服して、画竜点睛(がりょうてんせい)を欠くことがないようにがんばりたいと思います。

温根湯地区・昭栄  
かれん  
**森谷 佳連さん**  
(2001年生まれ)



新年明けましておめでとうございます。  
私はソフトテニスとピアノの習い事をしています。  
大好きなソフトテニスでは少年団に入っていて、1年生からずっとやってきました。今年の6年生は、少年団を卒業になります。なので、この一年を大切にしていきたいと思っています。  
ピアノは、今年発表会に出るので今、がんばって練習しているところです。今まで、発表会に出ようとして練習していましたが、すべて風邪などで欠席してしまったので、今年は健康に過ごして行けるようにします。

北見地区・南丘  
みずほ  
**山内 瑞穂さん**  
(2001年生まれ)



明けましておめでとうございます。  
今年小学校の最上級生になるので、小学校の思い出をたくさん作り、楽しい1年にしたいです。  
私は3年生からバレーボールを続けていて、週に3回練習しています。昨年の試合ではベンチに入っていたので、今年は試合に出られるように練習を積み重ねていきたいです。  
勉強で好きな科目は体育と図工で、体を動かしたり物を作ることが好きです。でも、算数が少し苦手なので、克服できるようにがんばりたいです。

相内地区・豊田  
にしほ  
**伊藤 虹穂さん**  
(2001年生まれ)



新年明けましておめでとうございます。  
今年6年生として小学校最後の年なので、勉強・運動・習い事を一生懸命がんばりたいです。  
友だちと仲良く遊び、苦手な算数を予習・復習で成績を伸ばしたいです。又、運動会の徒競走で1位を目指し、小学生での最後の思い出をいっぱい作りたいです。そして、家族全員健康で、お姉さん、お兄さんとも仲良く楽しくすごしたいです。  
最後に、お母さんのお手伝いも少しずつ助けてあげ、出会いの一つひとつを大事にしたいです。



上常呂地区・広郷  
**大林 守さん**  
(1965年生まれ)

皆さん新年明けましておめでとうございます。

私は一昨年に体調を崩し入院治療を続けていたが、昨年5月に無事退院することが出来ました。その間、多くの皆さんに多大なるご迷惑をお掛けし、農作業等でも大変お世話になりました。この場を借りて心からお礼申し上げます。まだ完全ではありませんが、健康で農業ができることに日々感謝し過

ぎしています。4回目の年男を迎えるに当たり「報恩謝徳（ほうおんしゃとく）」の言葉を大切に今までお世話になった方々への感謝を忘れず、日々を大切に積み重ね、ゆっくりがんばっていきたいと思っています。

置戸地区・拓実

**伊藤 康子さん**  
(1965年生まれ)

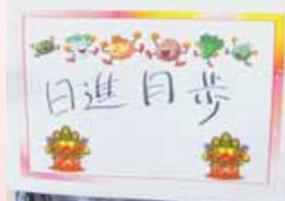


新年あけましておめでとうございます。

酪農家に嫁いで27年。年月が経つのは早く、あっという間の27年でした。

子供達もそれぞれ自立し、夫婦2人、これからも地域の人たちとつながりを大切に、ともに頑張りたいと思っています。

昨年は、天候不順で収穫作業の苦勞が目立ちましたが、本年は安定な天候であることを願って営農に取り組んでいきたいと思っています。



訓子府地区・駒里  
**石川ひとみさん**  
(1977年生まれ)

明けましておめでとうございます。

子供を授かり、今年は5年ぶりの出産を迎えます。「初心」

に返って子育てをがんばっていこうと思います。

12年前はちょうど結婚した年でした。農業従事者といっても、まだまだお手伝い程度でしたが、数年前の夫への経営移譲を機に意識がガラッと変わりました。今は育児を精一杯がんばりながら、みんなが健康な家庭を築き、そして12年後の今日は夫と共同経営者として、仲良く肩を並べていられるようになれたらいいですね。

相内地区・東相内

ともりのり  
**秋場 知徳さん**  
(1977年生まれ)



明けましておめでとうございます。

今年で、就農3年目になります。地球規模での気候の変動、

3.11の原発事故による放射能汚染・TPP問題など、農業を取り巻く環境は年々難しくなっていると感じています。自分が自信をもって作る農産物を、消費者に安全に供給できるようにしっかり肥培管理に努めたいです。

農は、国家そして人類生存の基盤であると思っています。今年も一意専心の思いで、百姓道に邁進していきますので、皆さんも、最高の出来秋を迎えられるよう、一緒にがんばりましょう。



置戸地区・川南

**渡邊健太郎さん**  
(1977年生まれ)



新年あけましておめでとうございます。

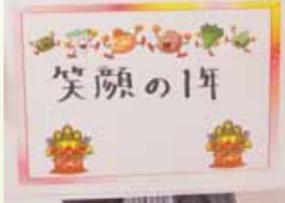
昨年を振り返ってみると、春の植え付けから秋の収穫まで

天候不順が続き、苦勞の多い1年でした。

しかし、地域の皆さんや青年部と活動をしていく中で、組織として、個人として、これからどのように農業に携わっていくべきか考えさせられる年でもありました。

今年は、農業情勢も厳しさを増していますが、安定した営農を目指したいと思います。

そして家庭内では、皆が健康で笑顔あふれる1年としていきたいです。



端野地区・川向

**松枝 修平さん**  
(1989年生まれ)



明けましておめでとうございます。

毎年特別な目標を作っているわけではないですが、両親や兄夫婦を支えながら仕事をがんばり、少しでも貯金が出来ればと思います。青年部活動等にも積極的に参加し知識を習得していきたいです。

12年前から変わらず猫が大好きで家族の一員のような存在です。当時は、小学校6年生。まさか自分が農家をしているなんて想像していませんでしたが、現在そしてこれからも、かわいい猫とともに家族みんなが仲良く生活できたらいいですね。



留辺蘂地区・花園

**井上 光夫さん**  
(1977年生まれ)

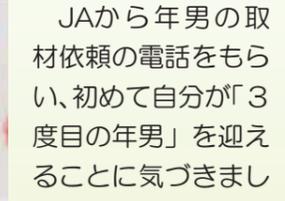


JAから年男の取材依頼の電話をもらい、初めて自分が「3

度目の年男」を迎えることに気づきました(笑)。

12年を振り返ると、JA合併で同世代の仲間がたくさんでき、コントラになって農作業がすべて共同作業になりました。また、結婚して子供も生まれ家族も増えました。改めて、仲間の大切さやありがたさを実感し、日々感謝しています。

また、農作業中にたくさんケガをした12年でもありました。もう自分一人の体ではないので「安全第一」と「健康第一」を心がけ12年後も元気におひさまサラダに出られるよう、がんばりたいと思います。



留辺蘂地区・瑞穂

**村上 郁恵さん**  
(1977年生まれ)

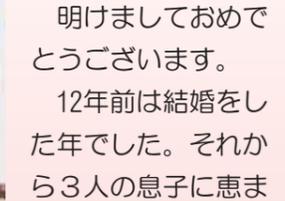


健康第一

12年前は結婚をした年でした。それから3人の息子に恵ま

れ、初めての子育てに苦勞しながら新しい土地での生活と、農作業にと充実した12年間だったと思います。フレミズの役員をやらせてもらうようになってからは、他支部の方とも仲良くなり、友だちの輪が広がりました。支えてくれる家族にも感謝しています。

昨年は天気に泣かされたので、今年こそは素晴らしい出来秋を迎えられることを期待し、がんばりたいと思います。



黄金色の“実を結ぶ”ことを願い

青年女性ネットワーク



▲梅加工施設の林室長から概要説明を聞く部員

11月29日は、南高梅で名高いJA紀南を訪れ、梅加工施設について林室長より概要説明を受けた後、収穫・出荷・選別・流通までの工程をビデオ鑑賞しました。

当JA女性部は、国内外農業研修として、紀南方面を計画、11月27日から30日、部員37名が参加しましたのでご報告いたします。

女性部

女性の参画後押しに“共感” 府県研修に37名参加

梅は、年間1千トンの製造と、特産に力を注いでいる様子でした。

30日は、JA紀南の中家組合長が「女性に見捨てられたJAに未来は無い」と題して、講演を頂きました。

JA紀南は、女性の正組合員が34%、女性理事が3名の現状となっております。中家組合長は、高齢化・担い手不足によって、組合員意識の高い正組合員が減少しており、JA基盤を強化するため、「量的な面と質的な面、双方からアプローチが必要」



とし、2年前から総合ポイント制度を開始しました。質的な面では、組合員意識の向上のため、「組合員の結びつきを強める活動」を推進しています。



- 1 トレーサビリティ・生産履歴表示の提出
- 2 公正競争価格(GAP)の提出
- 3 生産者毎に出荷物のサンプルを冷凍保管
- 4 生産履歴の自主分析を行う等、さまざまな安全・安心システムを導入し取り組んでいます。

中家組合長の講演では「役員を務めることは、まわりから認められている証拠で、情報も入手でき、仲間も増える。そして、人のために身近な活動をすることで人生のプラスになる。1年やれば成長するはず」と、勇気づけられる言葉に共感しました。



▲JA紀南の中家組合長を囲んで マスコットの“うめっぴ”も歓迎

この話に感銘しました。やはり外に出ることで貴重な話を聞くことができ、同時に本研修を通じて、多くの仲間づくりができたことも大きな収穫となりました。

訓子府地区・高園

山川 博さん (1953年生まれ)

明けましておめでとうございます。

昨年といわず、ここ最近、異常気象に悩まされ続けます。そんな状況だからこそ、常に意識の中にある「向上心」を改めて、強く心に刻み込みたいと思います。人生は死ぬまで勉強です。

まだまだ現役ではありますが、徐々に余暇を楽しめるように余裕を作っていきたいですね。そのためにも、若い人たちが安定して苦勞の少ない経営を行えるように、基盤作りをしっかりとっていききたいです。



端野地区・北登

田中 明美さん (1965年生まれ)

明けましておめでとうございます。

天気相手の農作業ですが、毎年異常気象と言われております。今年こそは良い出来秋をと願っています。

昨年は女性部役員という立場で、最初は不安だったものの、みなさんの協力もあり、残り僅かというところ。活動で得た出逢いを大切に今年もがんばっていききたいです。

12年前は女性部に入部したばかりだったと記憶しておりますが、振り返ると月日の流れを感じます。

今年1年、健康で過ごしていけたらと願っています。



上常呂地区・広郷

相原 秋子さん (1941年生まれ)

新年明けましておめでとうございます。

早いもので私も、今年で6度目の年女を迎えます。これからも毎日元気に体を動かし、農作業できることと、趣味のアサリ取りが楽しめるよう、また夫や子供、孫全員が「笑顔で楽しい」日々を重ねていけるよう、夫婦共々健康に気を付けて過ごしていきたいと思ひます。



また、地域の友だちと温泉に行くことも今の楽しみの1つです。本年はみんなとたくさん行きたいですね。

北見地区・大和

澤野 修三さん (1953年生まれ)

新年明けましておめでとうございます。

昭和54年に北海道に来て酪農を開始、今年で5回目となる



年男を無事北海道で迎えることができました。当初は冬の寒さに驚きましたが、34年目となる現在では「住めば都」という言葉通り、過ごしやすさを実感しております。

昨年は平年通り営農に励むことができました。孫も2人誕生し、嬉しい限りです。一方で体調を崩したこともあり、健康のありがたみを身にしみて感じております。今年健康に十分注意しながら営農に精進し、孫や家族との時間を大切に楽しく過ごしていきたいです。

女性部

食のアドバイザー佐々木さん  
食育の大切さを訴え

8支部合同研修会に130名参加

きたみらい女性部は12月7日、8支部合同部員研修会を開催し、部員130名が参加して、4つの講習会と食育の講演会を開きました。内容についてご報告いたします。

講習会は、午前に「エコクラフト」「フラワーアレンジ」を北見市民会館で、「フラダンス」は北見農業会館、「ピラティス」はJAセンター事務所で行われ、約30人に分かれて参加した部員はそれぞれの講習会を楽しむと同時に、貴重な体験を得ま

した。  
午後からは佐々木十美さん（置戸町教育委員会・食のアドバイザー）が「食育の必要性」と題して講演。佐々木さんは学校給食の現場経験より子どもたちの生活の乱れや外食が進むなか、子どもたちに「旬の食



▲佐々木十美さんの講演を聞く部員の皆さん



▲エコクラフト・テープでつくる小物入れ



▲「フラワーアレンジ」クリスマスツリーに挑戦！

材で、添加物の入っていない調味料を使用した給食」と「おいしく、魅力ある学校給食」を目指した自身の実践や取り組みについて講演しました。

子どもに対する食の重要性や身のまわりにある、調味料などの原材料・食品添加物等にも話が及び、来場者全員に3種類の「みりん」を試飲してもらい、本みりん・発酵調味料・みりん風味料の3つの違いについて説明されていました。  
参加者の山崎さんからは「本みりんは値段が高いが、上手な使い方は」

と質問され、「本みりんは値段は高いが、味が濃いで少しの使用で良いため値段はそれほど高くない。また、使用に当たってはアルコールを飛ばすため最初に入れたほうが良いです」とアドバイスされていました。

この日の風食に出されたポークカレーは佐々木さん直伝で、19種類のスパイスを、約1か月前より同僚役員が準備した手作りのルーで作製、その味わいはスパイシーな風味とキリのある味で、「普段自宅で作るカレーとはひと味もふた味も違う」と皆さんうなずいていました。



▲佐々木十美さん(左)直伝のスパイシー風味のポークカレー



▲「フラダンス」すっかり、南国ムードです



▲「ピラティス」インナー・マッスルでぽっか、ぽか

青年部

全道大会で活動実績を発表  
留辺蘂支部 優秀賞を受賞

全道JA青年部大会が12月6、7日、札幌市で開かれ、当青年部から部員24名が出席しました。

初日は「JA青年の主張発表」と「JA青年部活動実績発表」、「分科会」等がありました。  
活動実績の部では、オホーツク代表として、キャッチフレーズ『届け！大地の声』17人が生んだ「食育4

部作」の軌跡』と題して、当青年部の荒留辺蘂支部長が実績発表を行い、優秀賞を受賞しました。

活動内容は、「食育推進計画」の年次計画を作成し、農作業の植え付けから収穫・流通に至る過程について編集・ナレーションを加え、より分かり易くDVDにまとめました。小麦(うどん)・馬鈴薯(ポテトチップ

プ・酪農(アイスクリーム)・玉葱(シチュー)「できるまでシリーズ」4部作の力作です。  
翌日は、慶応大学・金子勝教授を講師に招き「国際情勢と北海道農業の展望」と題して記念講演がありました。



▲部員17人の力を結集した活動実績を発表し、優秀賞を受賞する留辺蘂支部の荒支部長

# 歴史と最新技術を学ぶ 外郭3組織合同視察研修

J Aの外郭3組織（青年部・女性部・フレッシュユミズ）合同の視察研修を12月11日から13日までの3日間、東京方面に北川卓也団長をはじめ、部員12名で実施しました。その概要をご報告いたします。

はじめに訪れた、家の光協会では、「家の光」等の機関誌の紹介と力を入れている食育の取り組みについて説明を頂き、編集部を見学させて頂

きました。続いて、全国中央会では協同組合活動と外郭3組織それぞれの活動意義や現在の部員・会員数の状況等の説明を受けました。その後は3組織からのJA役員登用について、3組織間の活動に対する連携について意見交換を行い、各組織からは積極的に発言されていました。次に富士通ネット・コミュニティでは、コンピュータを活用した農作

業効率の追求のほか、様々な試みを行っていました。農業、気象と販売との相関関係を見たり、ヘテランの人の視線の動きを追って、データ化を図る。高齢化社会への対応としては、買い物難民にデジタルテレビを利用して試作、提案段階の説明を受けました。



▲協同組合活動について説明を受ける（全国中央会にて）



▲富士通で概要説明を聞く

最終日は、大原幽学記念館を訪れました。農村指導の先駆者であり、「先祖株組合」と呼ばれる世界初の農業組合を作った人物として知られています。幽学の生涯や先祖株組合の仕組みを館内で学んだ後、幽学が設計し、現在も残るかやぶき屋根の住宅を見学しました。



▲大原幽学の肖像画



▲合同視察研修に参加したみなさん（大原幽学記念館の前にて）

「助け合い」による「協同」に目を向け、先人が築いた原点に触れ、歴史を学ぶことができたかと思えます。まさに、古きを知り、新しきを知る“です”。

一方で、最新技術を駆使した現代も合わせ見ること、新たな融合・創造から将来を考える第一歩につながるヒントになるのではないのでしょうか。

組織の活性化と協同組合運動への積極的な参画をめざし、参加した部員それぞれが何かをつかみ、集う仲間の牽引役として一層の結束を図るきっかけになればと思います。

## 青年部

# 南国九州農業を把握 九州農業視察研修に部員16名参加

当JA青年部では、部員16名で12月11日から14日までの4日間、九州方面の農業視察研修を行いました。生産者・視察訪問先との交流を通じて、次代を担う地域農業の牽引的役割を高めることを目的に、実行委員会（長山和弘団長）を作って、実施しましたので、その概要をご報告いたします。

初日は、錦灘酒造で近代焼酎の父、河内白麹菌の発見者である河内源一郎さんの三代目が経営する工場を見学しました。

況について説明を頂き、さらに現地の作付体系について学びました。続いて、佐賀県の農業概要と当JAにて、佐賀県の農業概要と当JAに共通する作物の小麦、玉葱の栽培体系について学び、その後、同市内



▲錦灘酒造で説明を聞く部員のみなさん



▲富士通で、営農指導ツールの取り組みを聞く



▲佐賀県で行われていた玉葱の定植作業

の指導農業士・牟田守さんから農業情勢と担い手の育成・確保の難しさ等について説明を頂き、また、佐賀県JA青年部協議会の会長を歴任された、牟田さんの後継者とも、活発な意見交換が行われました。

翌日は、さとうきびを受け入れしている三井製糖工場を見学し、その後、富士通九州支社で、施設園芸・環境制御システムへの取り組み、営農指導ツールの展開（胡蝶蘭栽培事例）について説明を頂きました。

最終日には、JA粕屋の直売所・ふれあいの里を見学し、帰路に着きました。

このたびの研修を通じて、年齢層に幅があるものの、支部間・年代を超えて懇親を深め、参加部員同士の意識がつながってきたのではないかと思います。



▲九州農業視察研修に参加したみなさんと佐賀農業改良普及センターの向島係長（前列右）



▲指導農業士の牟田さんから現地説明を聞く

# 胸骨圧迫で汗をかき

～救命救急講習会に部員14名が参加～

相内



▲胸骨圧迫とAEDを装着する部員

女性部相内支部(川岸啓子支部長)は12月14日、相内地区事務所でAED(自動体外式除細動器)講習会を行い、部員14名が参加しました。北見地区消防組合の岩崎主幹に実技を交えて講習をしていただきました。北見市は14ヶ所にAEDが設置されていますが、消防組合ではまだまだ設置が足りないと話され、実技では応急手当の基礎知識と救命

処置の手順に従い、人体蘇生模型を使って、一人ずつ胸骨圧迫の体験を行いました。汗をかきながら50回ほど圧迫した後、今度は2人セットで胸骨圧迫と人工呼吸、AED使用までの実技を行いました。講習会の終了後には、参加した部員1人ひとりに講習修了証が交付されました。

# 牛乳パワーを料理に表現

～定期研修会に会員14名が参加～

湯根温



▲料理を盛りつけ、完成させていく会員のみなさん

酪農女性グループ「みるくVACCA」(石井加代子代表)は12月14日、おんねゆ農業交流センター「花えーる」で定期研修会を行い、会員8名と女性部湯根湯支部の6名、計14名が参加しました。研修は、森永乳業(株)の佐野悦子さんを講師に迎え、チーズやヨーグルト等の乳製品を使って作ったナムルとなまますを盛りつけたピンパヤ、

牛乳の旨みとコクの効いた茶碗蒸し、モツツアラと小豆のアジアンデザートの3品を作りました。代表の石井さんは「自分達が普段から生産している牛乳のパワーが料理に表現されて、改めて牛乳の良さを再確認できました。これからもちの良さを伝え広めるために活動を続けていきます」と想いを語ってくれました。

# 東 西 南 北

▼「冬かぶらのすり流し枝豆真丈」を調理する部員のみなさん



上常呂

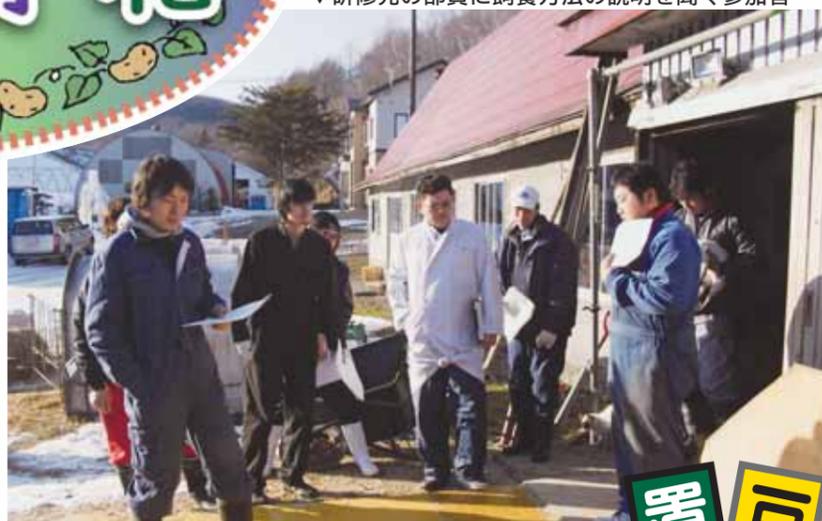
# 手ぎわよく美味しく完成

～日本料理講習会に部員14名が参加～

女性部上常呂支部(木村芳江支部長)は11月21日、北見市民会館で料理講習会を行い、部員14名が参加しました。当日は夕陽丘オレンジスタジオより大泉有希さんと瀬野雅人さんを講師を招き、「水かすべのルイベと紫玉ねぎのマリネ」「冬かぶらのすり流し枝豆真丈(しんじょう)」「北海の豊年蒸し」の3品について、1時間

ほど説明を受けたのち、4つの班に分かれて調理を開始しました。調理が始まると、さすが主婦。毎日料理しているだけあり、手際よく40分ほどで完成しました。調理終了後、講師の方が用意してくれた「いろどり豆ごはん」「南瓜のムース黒小豆ソース」を加えて参加者全員で試食。出来栄への評価や家族の話で盛り上がりがありました。

▼研修先の部員に飼養方法の説明を聞く参加者



置戸

# 現地で意見交換 管理方法を学ぶ

～バーンミーティングに部員7名が参加～

青年部置戸支部畜産部会(小山勇樹部会長)は12月3日、バーンミーティングを行い、部員7名が参加しました。バーンミーティングとは現地で実際に牛を観察しながら飼養管理等を検討していくもので、今回は部員4名の牛舎にて実施しました。オホーツクNOSAの獣医師2名にも参加いただき、飼養管理の聞き取りやアドバイスを交えながら進めていき

ました。他の酪農家から学ぶことは多く、異なる飼料の価格や給餌方法、環境整備等についていろいろな質問が飛び出し、今後のスキル・アップにつながるよう全員真剣に学んでいました。言葉だけではピンとこないことでも、実際に牛を観察しながら説明を受け、意見を交わすことで理解しやすくなり、有意義な研修となりました。

# 本格コーヒーの 入れ方を学ぶ

～ふれあい講座に  
部員29名参加～



▲サイフォンを使った入れ方を真剣に聞く参加者

女性部端野支部(田中明美支部長)は12月11日、端野地区事務所で「ふれあい講座」を行い、部員29名が参加しました。  
講座は事前に役員会で内容を検討し、「おいしいコーヒーの入れ方」と「プリアードフラワー」を使ったアレンジを行いました。  
メレンゲコーヒーの小松亮一さんがコーヒーの基礎知識とペーパードリップとサイフォンコーヒーの入れ

方を説明。その後、6班に分かれ参加者が実演し、飲み比べをしました。各班で入れたコーヒーと先生が入れたコーヒーの違いに参加者は「同じ豆を挽いたのにこんなに味が違うのか」と驚嘆した様子でした。  
また、寒河江房子さんからプリアードフラワーを使ったアレンジを昨年に引き続き教わり、それぞれ完成した作品に満足した様子でした。

# キャベツで 展着剤の実演

～農薬推進講習会に  
部員24名が参加～



▲薬剤の付着具合を確認する部員たち

青年部北見支部(福井慎一支部長)は12月14日「農薬推進講習会」をホテル黒部で行い、部員24名が参加しました。  
講習会ではホクサン株の石倉氏を講師に招き、展着剤の機能や使用する際の注意点などについて学習、実際にキャベツの葉に薬剤を滴下する実演を交え、部員は展着剤の付着具合を視覚的に確認しました。

続いて資材東エリアの職員より、農薬の早期予約奨励などの農協の取り組みについて説明を受けました。また、同日には青年部組織検討会に向けた意見集約も行われ、部員からは地区再編の必要性などについての意見が出されました。  
講習会終了後の懇親会では部員同士の交流も深まり、有意義な研修となりました。



▼パンの出来栄に満足する部員の皆さん



# 道産小麦で パンづくり

～支部間交流に  
15名が参加～

フレッシュミズ留辺薬支部(遠藤多美子支部長)と置戸支部(安西千春支部長)は12月6日に、おんねゆ温泉農業交流センター「花える」で支部間交流を行いました。  
両支部から計15名が参加した今回の交流会は、道産小麦のはるゆたかを使った「パン作り」に参加した皆さんは子育てのことなど、お互いの近

況を話しながら、パン作りを楽しんでいました。  
出来上がった「ピザパン」「あんパン」「ちくわパン」「クリームパン」「チョコチップパン」の5種類のパンが約240個が焼き上がり、辺りは香ばしい香りに包まれ、会員からは思わず、笑顔がこぼれていました。

▼地元農産物で作った料理を堪能する来場されたみなさん



# 訓子府の味 消費者にPR

～品揃え豊富に  
収穫感謝祭を開催～

女性部訓子府支部(相馬真弓支部長)は12月12日、町公民館で「第13回収穫感謝祭」を開き、町外から約150名が参加しました。  
毎年のお楽しみ、芋団子のお汁粉はもちろん、今年からは豚汁もお目見えし、品揃えがさらに豊富になりました。  
感謝価格で農産物を提供するミニコン市では開始前から行列ができ、開場と同時に目当ての農産物へと

消費者がなだれ込んでいきました。人参、長ネギなどは即完売、少し出遅れてしまった消費者の方も「おせち料理ができるから十分よ」と黒豆を抱えて笑顔で話してくれました。  
クライマックスは豆など農産物の総数量当てクイズ。まさかのピタリ賞が(しかも2人も!)出るという結末に、会場が大興奮に包まれました。

# INFORMATION

## 「スノーマーチ」 本年産が店頭に

### 馬鈴薯振興会と連携PR

●北見市場で初取引  
当JAで約20年栽培された、馬鈴薯の新品種「スノーマーチ」の本年産の初取引が12月1日、北見地方卸売市場で行われ、生産者ら約30名が品質をPRしました。  
スノーマーチの本格的な出荷は、22年産からで、3年目となった今回同市場へ6ト出荷しました。のほりで飾られた会場では、きたみらい馬鈴薯振興会の平川会長が「収穫期の長雨などで生産者は苦勞の連続でしたが、高品質なスノーマーチを今年

も届けることができました。市場や仲買人皆さんの力を借りて販売促進につなげたい」と呼びかけました。また、会場では丸ごと1個「スノーマーチ」が入った豚汁を振る舞い、おいしさをアピールしていました。同品種は熟成させると一段と甘みが増すため、JAでは冷蔵庫に移す時期を1ヶ月早め、年末の需要期に間に合わせました。  
スノーマーチは市内16店舗で販売され、2月頃まで店頭に並び予定で



▲初出荷されたスノーマーチについてマルキタ岡本執行役員(左)へ説明する平川会長(右)

## 7JAの連携再確認

### 2年ぶり「みらいサミット」

JA名に「みらい」が付く全国7JAが集まり、第5回全国JA名称みらい冠名交流会議（JAみらいサミット）が6、7の両日、東京都内で開かれました。このたびはJA東京みらいが主催、当JAからは西川組合長をはじめ、加藤会長、坂下専務、大坪常務の4名が参加しました。参加JAは、東京みらい・きたみらい・津軽みらい（青森県）・伊達みらい（福島県）・千葉みらい・新

潟みらい・兵庫みらいの各JA代表の約50名。サミットは「昨年、東日本大震災の影響で中止したため、2年ぶりの開催となりました。国際協同組合年を機に、JAグループの連携や、「いのち・くらし・地域」に関わる他の業界・団体とのネットワーク強化、安全・安心な農畜産物の持続的・安定的供給などを盛り込んだ宣言を採択しました。6日は立川市で全体会議を開き、「各JAの目指すもの・取り組むもの」を発表しました。震災で大きな被害を受けたJA伊達みらいからの復旧・復興への取り組みや課題説明を受け、各JAでできる支援を引き続き行うことを確認しました。

7日はJA東京みらいを視察しました。花の生産・育種・研究で高い評価を得ている清瀬市の横山眺さんと、都内有数の生産組織「きよせ施設園芸研究会」の初代会長、小寺正明さんを訪れ、大消費地での経営や生産技術、品質管理などの説明を受けました。  
第6回は今年、JA新潟みらいで開催される予定となっています。



▲7JAの代表者、JAみらいサミットで連携を誓う（東京都立川市で）

●スノーマーチ販促に手応え  
JAときたみらい馬鈴薯振興会が連携して12月2日、北見市内のスーパー6店舗で「スノーマーチ」のPR販売を行いました。  
前日に北見地方卸売市場で初取引されたのを機に、地元消費者に味と調理方法を知ってもらおうのが目的で行われ、同振興会役員やJA職員24人が参加しました。

市内のコープさっぽろ三輪店では、法被姿の振興会役員らが「煮崩れしにくく、カレーや肉じゃがに最適です」と呼びかけ、試食用のサラダとパンフレットを配布しました。  
本格的な出荷が始まった平成22年から購入している、市内常盤町の釜神綾子さんは「ホクホクして甘みがあり、塩煮にして食べたら最高です」と笑顔で話し、2袋買い求めています。



▲来店客にスノーマーチをPRする馬鈴薯振興会の藤原役員

## 「豆料理教室」でスイーツ作り!!

### きたみらい豆類振興会

きたみらい豆類振興会（茂住修二会長）は12月12日、JAセンター事務所の調理室で「豆料理教室」を開き、同振興会役員など9名が調理に参加しました。  
この取り組みは平成20年から行われ、今年で5回目。役員自らが料理

に取り組む、豆の調理方法を知り、消費者へ調理の方法を伝え、販売拡大を図る目的で行われています。  
今回挑戦したのは「スイーツ」。講師に野菜ソムリエ・穀物アドバイザーとして地産地消や食の大切さを広め、活動している辻本宜子さんを



▲azukiケーキ ▲白花豆のパパロア  
▲とら豆のショコラ ▲ムース・オ・ビーン

迎え、「白花豆のパパロア」「azukiケーキ」「とら豆のショコラ」「ムース・オ・ビーン」の4品に挑戦しました。  
調理に取りかかった参加者は講師の指導を受けて、慣れない手つきで包丁や調理用具を駆使して、試食で味を確認しながら、約2時間かけて4品を完成しました。  
参加した役員は、料理の出来栄にいたく満足。早速センター事務所の全職員にできたてのお菓子を配布し、「豆で作ったお菓子です。食べてみてください」と感想を求め、試食した職員からは「とてもおいしい」と大好評でした。



▲和やかな雰囲気につつまれる調理室

JAからの お知らせ

INFORMATION

第11回 理事会報告

12月21日、午後1時30分より第11回定例理事会が開催され、報告事項16件、議決事項5件が協議され、原案通り承認されました。

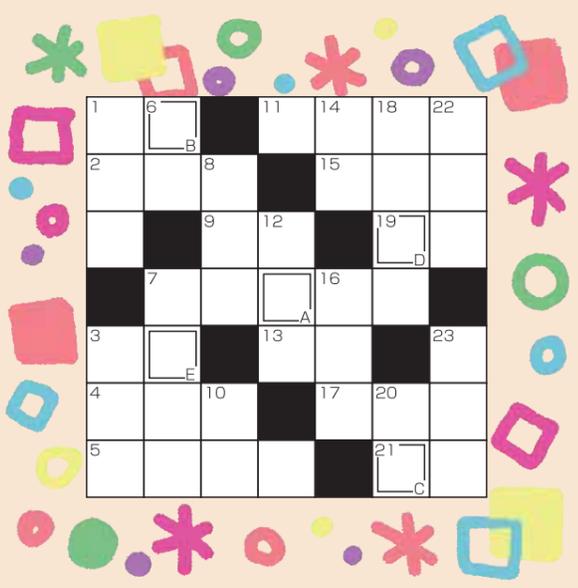
- 【報告事項】
①内部監査（営農・販売・ふれあい部門）報告について
②組合員状況報告について
③財務状況報告について
④役員選任にかかる地区推薦委員について
⑤再建対策農家の収支見込みと精算対応（予定）について
⑥平成23年産もち米本精算について
⑦平成23年産大豆本精算について
⑧平成23年産小麦本精算について
⑨平成24年産もち米の精算について
⑩平成24年産てん菜の生産実績について
⑪平成24年産米麦乾燥料金について
⑫平成25年産馬鈴しょ前進栽培要領について
⑬平成23年産澱粉馬鈴しょの精算について
⑭平成24年産玉ねぎ・馬鈴薯の選果状況について
⑮平成24年産小麦追加精算について
⑯合併10周年記念事業記念式典実行委員会報告について

- 【議決事項】
①出資増減口及び持分譲渡について
②固定資産の処分について
③平成25年度冬期地区別懇談会の日程（案）について
④第10回通常総代会の日程（案）について
⑤平成25年度事業計画基本方針（案）について

訂正とお詫び
先月号(119号)の「おひさまサラダ」で、誤りがありましたので、訂正のうえ深くお詫び申し上げます。
■訂正箇所■
○5ページの特集記事で上段の写真説明（誤）跳田会長→（正）飛田会長
○9ページの◆作付生産概要の表 H24とH23の全道の実績すべて（面積・収量・生産量・商品化量）が逆に表示

編集後記
・組合員の皆さま、そして家族の皆さま、明けましておめでとうございます。今回の「おひさまサラダ新年号」発刊で120号を迎えることになり、8JAの合併からちょうど10年が経過したのだと実感しています。
・新春特集で紹介した「今年の干支」について、「撒いた種が実(巳)を結ぶ年」とありました。合併から10年、組合員の皆さんや役員の手で1つひとつ汗をかきながら、撒いてきた種。今年は色鮮やかな大輪の花を咲かせ、たくさんの種が実ることでしょう。
・今年は10周年記念事業や平成26年からの中期計画策定なども予定されており、何かと忙しい年になると思いますが、健康に留意され、ご家族皆さまお揃いで豊穡の秋を迎えられますよう祈念します。（荒畑 正紀）

クロスワードパズル



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

- タテのカギ
①燃えるごみの日に——物を出した
③紙幣や硬貨を入れます
⑥フランス・パリの観光名所、凱旋（がいせん——）
⑦風車と木づつこの国
⑧テニスのラケットに張るもの
⑩酒をほどよく温めること
⑫尾——付きのタイで祝う
⑭タカによく似た大きな鳥
⑯まきをくべて暖をとります
⑰竜宮城へ行った——太郎
⑱梅干しを見ると湧く人も
⑳重箱に詰めて正月に食べます
㉑頭の上から潮を吹く生物
- ヨコのカギ
①鍋料理に入れてもおいしい鳥
②元日に——状が届いた
③料理を載せます
④15世紀、ペルーで栄えた——帝国
⑤よそ行きではない服
⑦正月にポチ袋に入れて用意します
⑨刀の手で握る部分
⑪コイやフナ、イワナなど
⑬15世紀、京都で起きた応仁の——
⑮手紙や電話、メールなどで届けられます
⑰山小屋のこと
⑲——並べ——福神
㉒とげのある美しい花

応募方法
答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え（番号）と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で15名の方に、女性部で講演した佐々木十美さんお勧めの「福来純三年熟成本みりん」1本(500ml)と「沖縄の塩シマース」1袋(1kg)をプレゼントします。

12月号クイズの当選者

12月号のまちがいさがしの答えは「1.3.6.9.12」でした。正解者37名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。尚、抽選はJAきたみらいの山本常務にお願いしました。
( )内は地区名
・長谷川和子さん(温根湯)
・荒 えみ子さん(留辺薬)
・佐藤 雄一さん(訓子府)
・西田 春代さん(訓子府)
・萩原 裕介さん(相内)
・今田 涼花さん(上常呂)
・戸田 時春さん(北見)
・高井 春枝さん(北見)
・岡崎 緑さん(北見)
・河島 君代さん(端野)
以上の方々には、白花豆の甘納豆「白花美人」(5袋)をプレゼントします。



見 所いっばいのおひさまサラダ、農畜産物を振り返って、とてもわかりやすかったです。わが家のアイドル・大きくなったらは成長が楽しみです。おしどり夫婦いつまでも仲良く元気いっばいの幸せですね。
(温根湯地区・長谷川 和子さん)
先月号はいろいろなイベントもあり、いつもより4ページほど増えてしまいました。これからも愛読下さいね。

は やくあたるといいな～。
お願いします！
(端野地区・富樫 衿可さん)

毎回応募いただきありがとうございます。今回はどうだったかな？ これらも挑戦してくださいね。

VOICE 読者の声

年末年始の営業日程

Table with 6 columns: 月日, 曜日, センター地区事務所, 金融窓口, ATM, 給油所. Rows show business status for dates from 12月29日 to 1月7日.

頭 の体操でまちがいさがしをして、当選すればおいしい物をゲット、1度で2度おいしい話ですね！
(温根湯地区・大関 博子さん)

今回はおいしい物を作るための品を用意してみました。これを使うと佐々木十美さんの味が出せるかも？

お ひさまサラダは各支部のことが分かっているですね、年前の大雪にはまいますね。
(留辺薬地区・今部 幸江さん)

年前のベタベタの大雪には参りました。我が家の除雪機では全然飛ばず、結局2時間かけスコップで除雪。もう体力の限界です！



## 表紙撮影にあたって

表紙撮影にあたっては、当初、晴れ着姿の女性を登場させようと考えていたのですが、石北峠を過去何度かトライ、悪天候で断念している経過を聞いていたため、何とか自分の手で撮ってみたいと思い、今年の表紙として取り上げることに決め、冬の凍結道路を片道1時間半かけて3回通い、うち2回は幸運にも撮影に成功することができました。

さて、「表紙は決めましたが裏は？」と考え空を見上げると、明けていく空の反対側に“月”が浮かんでいました。

東を見ると年の始まりの「日の出(表紙)」に追い出され、西に沈んでいく月(裏表紙)。明るくなると忘れられてしまう月に昨年のイメージが重なり、対称的な写真を裏に飾らせてもらう事としました。